



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 89 号

2011.6.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- ー記念企画展のご案内

活動報告

- ー大瀆山の春植物観察会
- ーブナ林の野鳥観察会

観察会案内

- ー夜のモリアオガエル観察会（豊平）
- ー龍頭山の野鳥観察会
- ー霧ヶ谷湿原の植生調査（夏）
- ー霧ヶ谷湿原の昆虫観察会

お し ら せ

●記念企画展 " 伝えたい、いのちの輝き " のご案内

高原の自然館開館 10 周年、西中国山地自然史研究会設立 15 周年を記念し企画展 " 伝えたい、いのちの輝き - 生物の多様性が育む多彩な文化 - " を開催します。教育委員会が所蔵する作品とともに、北広島で制作をしている作家の作品を展示します。絵画・版画・陶器・写真など、北広島の自然が生み出した作品を「生物多様性」の視点から集めることで、ふるさとの自然を見つめ直します。高原の自然館学芸員によるギャラリートーク他、ミニライブや絵本の読み聞かせがある日もあります。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

開催日時:2011 年 6 月 18 日（土）～ 6 月 26 日（日）

開催場所：ギャラリー森

北広島町有田 1532

ショッピングセンターサンクス 2 階

Tel:0826-72-3939（代）

開館時間：10 時～ 18 時（最終日は 17 時まで）

観覧料：無料

主催：北広島町教育委員会

NPO 法人西中国山地自然史研究会

協賛：中国新聞社・NPO 広島神楽芸術研究所

主催：西中国山地自然史研究会・高原の自然館

観 察 会 報 告

●大潰山の春植物観察会

開催日時:2011年5月14日(土)9:30

講師:暮町昌保・佐久間智子

風は強く吹いていましたが雲はほとんどなく程良い気候の中、大佐スキー場の駐車場に16名が集合しました。車で登山口に移動し、「大潰山のスマレ」資料を配りました。今回の講師は暮町先生と佐久間先生です。簡単な説明を受けてから登山を開始しました。

今年は開花時期が遅く、ツツジの花はあまり見られませんでした。佐久間先生によると、スマレを見るには丁度良いとのことでした。大潰山の入り口にはコシアブラやクロモジの木がありました。登り始めてすぐにチャルメルソウとコチャルメルソウを見つけ、葉の濃淡での見分け方を教えていただきました。しばらく登っていくとスマレを見つけました。葉や距(きよ)を調べてみるとオオタチツボスマレやスマレサイシンだと分かりました。ヤマアカガエルも見つけることができました。まだ少し寒いせいか動きが鈍い感じがしました。山の中腹に差し掛かり、ミズナラとコナラが混生している付近では、タチツボスマレやシハイスミレが咲いていました。他にも、落ち葉の間から真っ白なギンリョウソウが姿を覗かせていました。また、キツツキが木を叩いている音を聞いたり、幹に穴を空けた跡を見つけました。炭焼きがまの跡がある場所で、その当時の話を聞きながら、休憩をとりました。

再び歩きだしてしばらくすると、不自然に枯れ葉が密集して残っている木がありました。佐久間先生によると、クマ棚と呼ばれる、クマが木に登り、そこで食事をした跡だと分かりました。また幹を見てみると、クマの爪痕も残っていました。山頂付近まで登っていくと、アケボノスマレを見つけることができました。他にも、数は少ないですが、ダイセンミツバツツジも咲いていました。山頂には正午ちょうどに着きました。登りきった私たちの周りをハシブトガラスが歓迎するかのように飛んでいました。

下る道は日当たりが良いのか、登った道よりも多くツツジやスマレが咲いていました。しばらく下りていくとニオイタチツボスマレを見つけました。良い香りがするということなので、

においをかいでみる人もいました。途中、キビタキと出会うことができました。しばらくの間近くの木に止まり、その姿を私たちにを見せてくれました。ふもと付近まで下りると、前日に雨が降っていたせいか、道の所々に水が流れていました。その付近にはフモトスマレやニョイスミレ(ツボスマレ)が咲いていました。白く小さい花で非常に愛らしかったです。

駐車場でまとめをしている途中で暮町先生が、日本に昔から咲いていた在来種と外来種のタンポポの違いについて話されました。今回の名目は植物の観察会でしたが、振り返ってみると植物だけでなく色々な動物の姿や痕跡などを見つけることが出来て、とても有意義な観察会となりました。[ありみつまさかず]



佐久間先生より今日の行程のお話。



ブナとイヌブナでは生息環境が違うと教えていただいた。



葉の裏が紫なのでシハイスミレ。葉を裏返して確かめてみる。



在来と外来のタンポポを説明する暮町先生。



小さくて可愛らしいフモトスミレ。

【みなさんの印象に残った物】

「花の名称. 小さなものまでよく考えてある.」
「スミレの種類が多く沢山見れた事.」
「アケボノスミレが一番よい時でした. 色んな種類のスミレがどれも観察できた」
「スミレがこんなにかわいく思えたことはなかったです.」
「スミレの花の種類が多せ, 知らなかった.」
「クマ棚の話, 面白かったです.」
「大きいミミズを見たこと. キビタキを見たこと.」
「暮町先生達の小話.」
「佐久間先生と暮町先生のお話・説明がとても楽しくすばらしかったです.」
「新しい木の名を知った. ヤマウグイスカグラ・オオウラジロノキ (山ナシ)」

【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「山の空気がスバラシかった.」
「先生方の説明を聞きながら大変楽しく歩けた事. ツツジが咲くのが遅くてちょっと残念でしたが, スミレが沢山見れて楽しかったです. ありがとう.」
「ツツジの開花が去年よりずいぶん遅い.」
「天気が高く最高でした.」
「初めての参加で, おっかなびっくりでしたが楽しく学習できました.」
「アケボノスミレ, ニオイタチツボスミレ, などよくわかってよかったです.」
「いろんな植物が見れてよかった.」
「いつもながら途中でも会話がたのしく思う.」
「とても楽しかったです.」



みんなで記念撮影.

観 察 会 報 告

●ブナ林の野鳥観察会

開催日時:2011年5月22日(日)5:00

講師:上野吉雄

昨年に続き雨の中での野鳥観察会となりました。小学生5人を含めた19名のみなさんが、朝5時に雪霊水前に集合しました。まだ夜が明けず薄暗い中でしたが、キビタキの鳴き声から観察会が始まりました。講師は上野先生です。車道をゆっくりと歩きながら耳をすませ鳥声を聞き、近くにいそうなときは目をこらして姿を探しました。にぎやかにさえずるミソサザイ、鳴き声の最後に「ジジツ」という低音が入るオオルリ、日本3大鳴鳥のひとつコルリ、「キョロンキョロン」と鳴き、他の鳥声のものまねが上手なクロツグミがいました。

また、オシドリのペアも観察しました。オシドリといえば水辺の鳥なのに、なぜ山の中にいたかという、大木のウロに営巣するためだそうです。姿を見たのはわずかな時間でしたが、とても貴重な瞬間でした。鳥だけでなく、モリアオガエルのメス、サワガニ、ダイセンニシキマイマイも見つけました。これらは鳥のえさとなるそうです。こういった多様性に富む環境があるため、様々な動植物が生息しているんだなあと改めて感じました。

ひとつおり観察を終え、雪霊水前に戻りました。するとなじみのある「キョロロロロ・・・」という鳴き声が聞こえてきました。アカショウビンです。しばらく静かに観察していると目の前の梢に止まり、アカショウビンが姿を見せてくれました。雨上がりのブナ林の中、くちばしと体の赤さがひときわ目立っていました。最後に参加者で鳥合わせをした結果、11種類の鳥を観察したことがわかりました。上野先生の詳しく熱心な解説のおかげで、鳥の鳴き声や特長をはじめ、生息環境やその大切さがわかった観察会となりました。[このやよい]



雨と霧の中、観察会が始まった。



「みて！ダイセンニシキマイマイだよ！！」



ミソサザイを探して目をこらす。



鮮やかなオレンジ色の樹液酵母をみつけた。かすかに甘い香りがした。



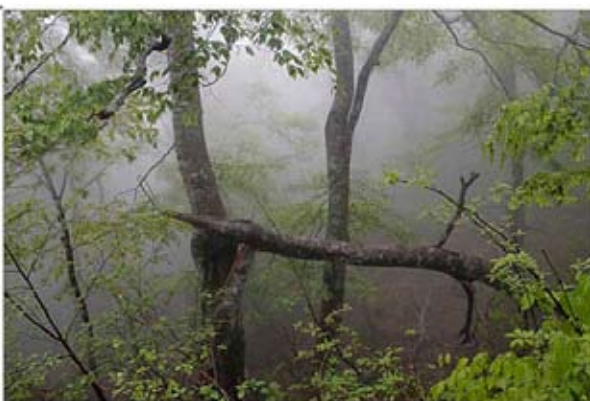
姿を現してくれたアカショウビン！



雨の中、浮かび上がるように咲いていたウスギヨウラク。



最後のまとめ。観察した鳥の名前を挙げていく。



大雪の影響で折れた木がたくさんあった。

【みなさんの印象に残った物】

「アカショウビンの声を初めて聞きました。2羽姿も見えました。」「今季初、アカショウビンが近くでみえた。」「オシドリ、アカショウビン」「モリアオガエル」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「もう少し天気がよければ。」「鳥の種類が多くていい。」「雨だったのが残念。」「雨の中でも気持ちよかった。」「鳥以外でもモリアオガエルやサワガニ、ブナの実生が観察できてよかったです。」「雨の中もまた良かった。」「小鳥の声のシャワーが美しかったです。見えなかったのが残念。」「雨天でしたが声を楽しめました。」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 夜のモリアオガエル観察会（豊平）

開催日時：2011年6月10日（金）19:00
集合場所：志路原開発センター
講師：内藤順一
準備：基本セット、長靴、懐中電灯
定員数：30名
参加費：一般=300円
賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

モリアオガエルを観察します。樹上の産卵場所で、一匹のメスに複数のオスが抱接し繁殖を行うのが特長です。産卵は暗くなってから始まり数時間続きます。鳴き声を聞いたり、姿をみたり、運が良ければ産卵を観察することができますかもしれません。暗い中でも移動できるよう、懐中電灯をお持ちください。

● 龍頭山の野鳥観察会

開催日時：2011年6月11日（土）6:00
集合場所：道の駅 豊平どんぐり村
講師：上野吉雄
準備：基本セット 定員数：30名
参加費：一般=300円
賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

豊平地区にある龍頭山で野鳥観察を行います。カラ類の鳴き声の違いのお話や、キツキの仲間が木をたたき音をきいたり、早朝の山を歩きます。時間をかけて、じっくりと野鳥を観察しましょう。新たな発見が待っているかもしれません。

● 霧ヶ谷湿原の植生調査（夏）

開催日時：2011年6月25日（土）9:30
集合場所：高原の自然館
講師：白川勝信
準備：作業セット
定員数：30名
参加費：無料

霧ヶ谷湿原が完成し、2年目を迎えました。湿原の植生はどのように変化しているのでしょうか？継続してきた調査を今年も実施します。初心者の方でも気軽に参加ください。

● 霧ヶ谷湿原の昆虫観察会

開催日時：2011年6月25日（土）16:00
集合場所：高原の自然館
講師：岩見潤治・清水健一
準備：作業セット、懐中電灯、帽子、タオル（首に巻いて昆虫の侵入を防ぐ）、虫取り網、観察用の虫かご、寒さ対策の上着
定員数：30名
参加費：一般=300円
賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

八幡湿原自然再生事業によって完成した霧ヶ谷湿原で、夜の昆虫観察会を行います。日がでていいる間は昆虫を探して、観察します。日が暮れてからはライトトラップをしかけて、灯火採集・観察を行います。初夏の湿原の夕暮れ、どんな昆虫がやってくるのでしょうか？専門家の講師と一緒に時間をかけてじっくりと観察しましょう。お子さんの参加も大歓迎です。

アカショウビンの鳴き声が聞こえ、高原の自然館の窓口ではカキツバタに関する質問が増え始めました。そして今年は“ブナの実生（みしょう）”を初めてみる事ができました。数百年の樹齢を重ねるブナの木が0歳時期を見ることができるようになって、特別な年だとうれしくなりました。この八幡に住んでいると、毎年何かしらの発見があり、新たなことも教えてくださる人もいて、住めば住むほどに魅力ある土地だなあと感じます。（この）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info